(一財)大阪科学技術センター 第２回会員懇談会

日 時：２０２５年7月２９日（火） １５：３０～１６：００

場 所：大阪科学技術センター８階 中ホール

議 第：大阪科学技術センターの事業実施状況について

１． 開会挨拶

２． ２０２４年度事業報告

・普及広報事業

・技術振興事業、ニューマテリアルセンター事業、地域開発促進事業

・施設利用促進事業、総合企画活動

・主な経営指標

３． その他

・質疑、意見交換

【会員懇談会について】

大阪科学技術センターは、1960 年 4 月、科学技術水準の向上ならびに関西産業発展を目的に創設され、時代の変化に対応しながら、関西における科学技術振興の中核機関として、分野を超えた産学官共創により経済活性化、情報発信、イノベーション創出、さらに次世代の人材育成支援など「人と科学のかけはし」として、各種事業を推進しています。

こうした事業活動は、会員の皆様のご理解・ご支援によって成り立っていますが、事業実施状況について会員の皆様に直接ご説明する機会がなかったことから、今般、会員の皆様を対象に、ご支援をいただいていることによって成し得た事業のご報告・ご説明の場として、また、会員の皆様の交流の場として、会員懇談会を開催させていただくこととしました。

講演会(第 161 回 OSTEC 講演会併催)

日　時：２０２５年7月２９日（火）　１６：１０～１７：２０

場　所：大阪科学技術センター８階　中ホール

テーマ：データサイエンスによる事業課題の解決と高度人材育成
～情報の知をビジネスの発想で問題解決に活かす～

講　師：関西大学ビジネスデータサイエンス学部長/大阪大学名誉教授　鷲尾　隆　氏

昨今、データを重要な資源として捉え、企業における意思決定、業務の最適化による生産性の向上、市場競争力の強化、ビジネスチャンスの発掘などの観点で、データ分析の重要性が叫ばれています。企業にとっては、データを活用し、データを通してビジネスにおける課題を克服できる人材を育成し確保することが必要になってきます。

IoT・AI 技術の発達・普及により、実世界情報を容易にデータ化して様々なアルゴリズムに入力処理することで、多様な事業課題を解決できるようになってきました。今回の講演では、その実例として、データ解析やシミュレーション技術を駆使した製造プロセスの最適化などの実践例をご紹介いたします。さらに、このように急速にデジタル化する社会において、ビジネスにおける課題解決をリードし、躍動できる人材を育成する取り組みについて紹介いたします。

～講師のご紹介～

鷲尾　隆（わしお　たかし）

1988 年　東北大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。1988 年マサチューセッツ工科大学原子炉研究所客員研究員。1990 年 ㈱三菱総合研究所入社。1996 年　大阪大学産業科学研究所　助教授。2006 年同教授。2024 年 4 月より関西大学ビジネスデータサイエンス学部長（大阪大学名誉教授）。

人工知能の基礎研究、特にデータマイニングの研究などに従事。2009 年度人工知能学会功績賞受賞。

産業技術総合研究所　人工知能研究センター　NEC-産総研　人工知能連携研究室　室長。

大阪大学　KOBELCO　未来協働研究所　所長。

交流会（立食）

日　時：２０２５年7月２９日（火）　１７：２０～１８：３０

場　所：大阪科学技術センター　７階レストラン

参加費：無料